

普及だより

発行

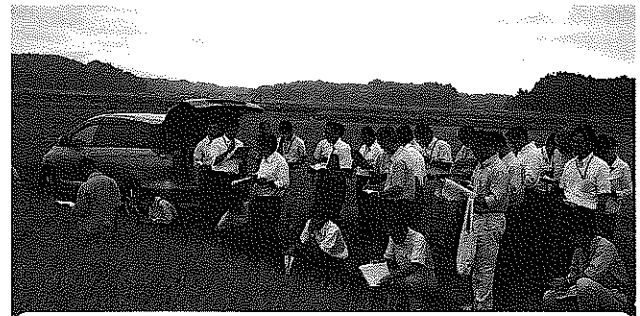
香取農林振興センター
地域振興部改良普及課
香取地域農業改良普及事業協議会

分庁舎：〒287-0003 香取市佐原イ4149-57 TEL：0478-54-1338 FAX：55-1703
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/katori/>

水田フル活用推進事業で 稲WCS（稲発酵粗飼料）・飼料用米の栽培促進



畜産農家と水稻栽培農家・コントラクター
三者による稲WCSの推進会議



飼料用米「べこあおば」の研修会
(香取市府馬)



稲WCSの収穫（香取市新里）



ラッピング後保管中の稲WCS（香取市香北）

香取地域では、『水田フル活用』を目指し、水田で飼料生産を行い、畜産農家へ供給する取り組みを行っています。

飼料用米は、飼料専用品種の「べこあおば」をJA全農ちば・JAかとりとともに推進し、香取市府馬地区で約7haの栽培を行いました。「べこあおば」はコシヒカリより収穫時期が遅く、大粒・多収の品種です。今年は1a当り六百kg以上の収量でした。

稲WCSは、香取市（香北地区、新里地区、石納地区、小見地区、浅黄正谷地区）、多古町（島地区）で栽培し、約四十七haと面積が前年比で三・五倍に増大しました。

今後も香取農林振興センターでは、市、町、JAの協力のもと、水田のフル活用と耕畜連携の推進を図ります。

地域特産品の生産振興
 アグリビジネス・
 新産地づくり事業への取組み

今年、香取地域では三品目を
 選定し、産地化を目指した事業
 展開を行っています。

さつまいも

◎ J A 佐原美味しいさつまいも作り研究会（会員三十八名）は、高系改良種による新商品「佐原金時さわらっこ」のブランド化に取り組み、十七 ha で、出荷量九万ケースを計画しています。

貯蔵施設の導入により、出荷期間は、十一月中旬から四月下旬まで拡大。また、MS 級の袋詰め販売、化粧箱ギフト販売、J A 直販など多面的な販売を行っています。

下位等級品は、冷凍ペーストに加工し、地元の和洋菓子店等に供給しています。

また、優良種の選定や、試食、ポスター、のぼり、ラジオ CM 等を活用した販売促進にも積極的に取り組んでいます。

◎ J A 多古町べにはるか研究会（会員五十三名）では、新品種「べにはるか」の産地化を目指し、二・六 ha の栽培で、約一万ケースの出荷を計画しています。



さつまいも現地検討会

「べにはるか」の特徴は、貯蔵することにより「甘み」と『しつとりとした食感』が増すことです。

女性会員が中心となり、「べにはるか」に適した料理法（レシピ）を考案し、販売促進に活用するための料理実習会も開催しました。

来年は会員全員によるエコフ
 アーマー認定取得を予定してい
 ます。

さといも

栽培面積が減少傾向にある中
 で、新品種「ちば丸」は、孫芋
 が丸く、大きいことから、県産
 さといものブランド力を高める
 品種として期待されています。

J A かつり園芸部連絡協議会
 ちば丸部会（会員二十九名）で
 は、「ちば丸」栽培技術の早期
 安定化・販促活動に取り組み、
 面積拡大を図ってきました。栽
 培二年目を迎え、生産者が増加
 し、二・八 ha の栽培となりました。

また、産直組織等の生産者
 （十七名）二・三 ha でも、栽培
 を行っています。

これからの畑地かんがい利用
 の有望作物として、注目されて
 います。

ほうれんそう

（農）和郷園の出荷会員と J A
 かつりの組合員二十七名は、昨
 今、需要が拡大している加工・
 業務用野菜に対応するため、冷



加工ほうれんそう収穫

凍加工用の原料を生産する取り
 組みを行い、秋冬作と春作で二
 十九 ha を栽培する計画です。
 栽培面では、研修会や先進地
 調査による技術向上と、定例会
 による情報交換に取り組んでい
 ます。
 また、冷凍加工施設整備や、
 新たな商品製造のためのペース
 ト製造機の導入を図り、加工向
 け野菜を生産する経営の確立と
 産地化を目指しています。

平成二十一年度
千葉県指導農業者士・農業士
認証者の紹介

【指導農業者士】



木内 健司氏
(香取市)

フリーストール・パーラー・TMR方式による乳牛約七十頭の酪農経営です。

新技术を積極的に取り入れ、飼養管理の簡素化、疾病対策に重点を置くなどにより、個体乳量は一万kgを超える水準での生産を行っています。

また、他の生産出荷団体と連携して自給飼料生産を推進するとともに、耕種農家とも連携し堆肥の地域内活用を図っています。



篠塚 のり氏
(多古町)

ペピーリーフ、ルッコラ等の葉物の周年栽培を雇用労力を活

用し、大規模に行っています。

有機JAS認証を受け、販売先は有機農産物販売業者、スーパーマーケット、ファミリーレストラン、生協、レストラン、ホテルなどで、ほぼ全量が契約栽培となっています。また、平成十九年よりGAPを取り入れています。

【農業士】

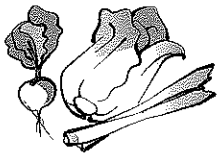


鈴木 一雄氏
(東庄町)

コカブの周年栽培による大規模経営を行っています。

緑肥や堆肥のすき込みによる土づくり、防虫ネットの利用など環境にやさしい農業に取り組んでいます。

J A かつり青年部長を経験し、所属する出荷組合では市場担当として調整役を担う等、リーダーとして活躍が期待されています。



「記帳は経営発展の要」
スキルアップ研修会で学ぶ

農林振興センターでは、平成二十年度より経営体育成セミナー修了生を中心に、スキルアップ研修を開催しています。

研修の内容は、若い農業者自身が描く営農計画を実現していくのに必要な知識や技術、情報の収集等が中心です。

今年のテーマは「複式簿記をパソコンで記帳し、経営に役立てよう！」で、千葉県農業会議の協力を得て八月に開催しました。

参加者は、これから経営の中心となる経営体育成セミナー修了生や若い女性農業者等二十名で、パソコンでの記帳は初めての方がほとんどです。

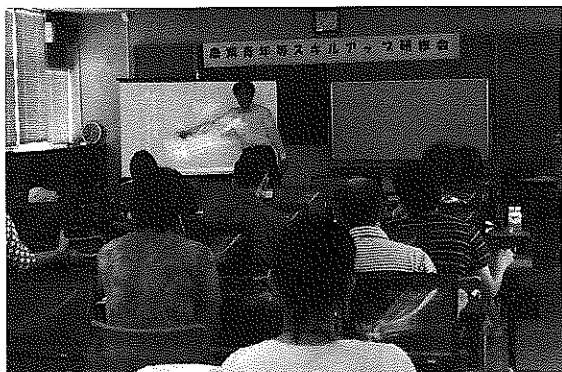
講師の税理士の方から、複式簿記の必要性や税控除のメリット措置などの講義を受けることで、技術習得への意欲が向上したようです。

とはいえ、記帳を続けるということは努力が要ります。

パソコンに慣れ、日々の記帳をし、決算処理など、四日間の研修では覚えきれない分量でした。

そこで、これからも記帳のための学習会を続けることが参加者間で合意されたことになり、定期的開催することになりました。

「記帳することが第一歩！結果の数字を読むことで、経営改善につながる！」
こんな活動がスキルアップ研修会で始まっています。



パソコンでの記帳を学ぶ研修生

「ちば農業未来塾」を 開催します!

千葉県では、経営発展を目指す意欲ある農業者の学びの場、「ちば農業未来塾」を開催しています。今回は、『売り方』をテーマに、より儲かる農業への事業展開について考えます。また、野菜・花・水稲・観光直売の品目別業種別に座談会を開催し、県内の事例紹介をもとに今後の経営のあり方について共に考えます。

是非、奮ってご参加ください。
開催日時
 平成二十二年一月二十二日(金)
 十三時三十分～

【交流会】十八時～

※参加費別途三千円予定

◆開催場所 成田国際文化会館

◆内容 「農業」から「アグリビジネス」への転換

～儲かる「農業」のヒント集～
講師 (株)キースタッフ

代表取締役 鳥巢 研二氏

◎申込・問合せ先
 千葉県香取農林振興センター

企画振興課 〇四七八(五二)九一九二
 改良普及課 〇四七八(五四)一三三八

平成二十二年度 新規受講生募集中!

☆青年の新規就農者を対象とした三年制の勉強会「農業経営体育成セミナー」を五月に開催します。

研修内容は、病害虫防除や土壌肥料、農業機械保守点検、経営改善等の講義や、地域内外の優良事例の視察等を計画しています。



指導農業士とセミナー生の
交流研修会

☆定年退職等を契機に農業経営に取り組む中高年の方を対象に、「いきいき帰農者等支援研修」を実施します。

参加を希望する方はご連絡下さい。

◎申込・問合せ先
 上記 改良普及課

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)は、在来のタニシと異なりピンク色の卵を産むのが特徴です。繁殖力が高いため、発生すると防除が困難です。最近、香取管内でも発生していますので特徴的なピンクの卵塊を見つけたら注意してください。

被害の様子

田植え直後から三週間位までの軟らかい苗を食害し、生息密度が高くなると、欠株が多くなります。深水管理のところ被害を受けやすいです。

防除方法

①見つけ次第捕殺
 用排水路を含め、見つけたら捕殺します。地域全体で実施すると効果が高くなります。

また、卵塊は産卵後、六月では七日以内、七～八月では五日以内、その他の時期は十日以内に水中に落とすと死滅します。

田んぼや水路でピンク色の卵塊がありませんか? ジャンボタニシが発生しています

② 浅水管理

発生が多い時は、なるべく浅水で管理します。

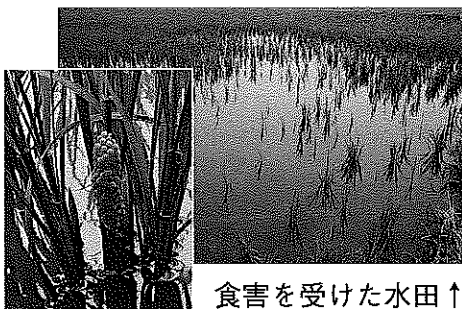
③ 薬剤防除

本田防除では、スクミノンやキタジンP粒剤を散布します。

④ 厳寒期の耕起

耕うんによる殺菌効果は高く、特に一～二月の厳寒期の耕起は、越冬中の貝を寒気にさらし、殻に傷つけることで死滅させるのに効果的です。

※貝に寄生虫(広東住血線虫)がいる場合があります。素手でさわったら手洗いして下さい。



↑ 食害を受けた水田 ↑

↑ 卵塊 (中央)